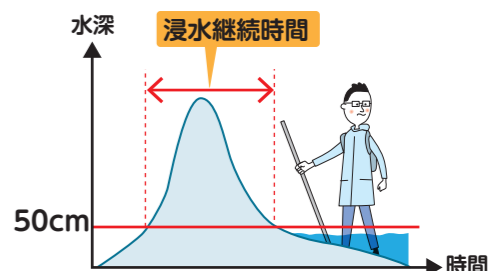


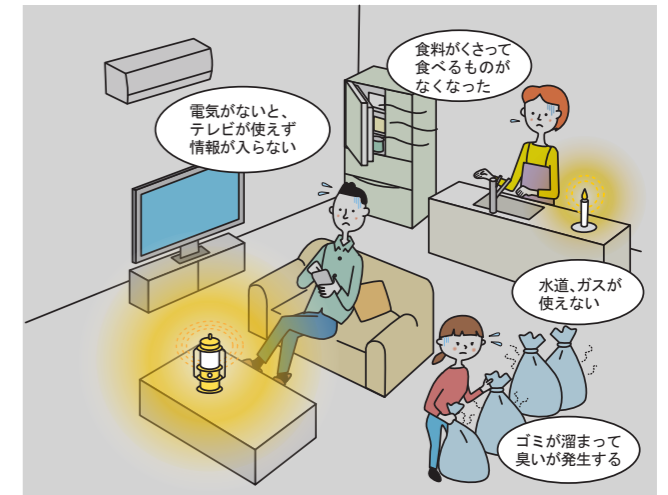
浸水継続時間とは

浸水継続時間とは、屋外への避難が困難となる「浸水の深さが50cm以上になってから50cmを下回るまでの時間」を示したものです。



浸水継続時間が長い地域では

ひとたび洪水が発生してから、水が引くまでの時間は、降雨量や地形などによって異なります。
 浸水継続時間が長い地域では、立退き避難を行わなかった場合、ライフラインが絶たれることなどにより避難生活が困難となるおそれがあります。



【浸水継続時間図】
 浸水継続時間図は、下記の河川の想定最大規模降雨による浸水想定区域を重ね合わせ、各地の最大の浸水継続時間とすることで、最大のリスクを示したものです。

河川名	想定最大規模降雨* 雨量条件
朝霧川	朝霧川流域の12時間流域平均総雨量817mm
明石川	明石川流域の4時間流域平均総雨量241mm
谷八木川	谷八木川流域の12時間流域平均総雨量551mm
赤根川	赤根川流域の12時間流域平均総雨量551mm
瀬戸川	瀬戸川流域の12時間流域平均総雨量551mm
喜瀬川	喜瀬川流域の12時間流域平均総雨量551mm

*おおむね1000年に1度(1年の間に発生する確率が1/1000程度)の降雨

- 凡例**
 浸水継続時間(浸水深50cm以上)
- 24時間(1日)~72時間(3日)未満の区域
 - 12時間~24時間(1日)未満の区域
 - 12時間未満の区域

1 災害への備え

2 風水害

3 地震・津波

1 災害への備え

2 風水害

3 地震・津波